

## 沼津市総合計画審議会 第1回快適・安心部会 会議の概要

日時：令和元年10月15日(火) 10:00～12:00

場所：沼津市民文化センター 第2練習室

資料：次第、資料1、2、基本構想(案)

### 1 開会

### 2 部会長あいさつ

### 3 部会の進め方等について

●資料1「沼津市総合計画審議会部会の進め方等について」、資料2「基本構想骨子案に対する事前意見とその対応について」を事務局より一括して説明。

### 4 沼津市総合計画基本構想(案)について：審議

はじめに、事務局より、第2章「まちづくりの基本理念」、第3章「沼津が目指す将来都市像」、第4章「目指す都市のかたち」の概要を説明。その後、第5章の「まちづくりの柱」の審議を始めた。

**まちづくりの柱2「ヒト中心で都市的魅力にあふれるまち」について審議。**

**事務局より、柱の内容を説明。**

#### リード文

委員)「土地利用の適正化」という文言があるが、土地利用ができていない案件があるために記載しているのか。

事務局) 中心市街地において、スポンジ化が進んでおり、平面駐車場や空き家等散在しているため、集約化などを含め、効率的で景観に配慮した土地利用をしていきたいと考えている。

委員) 沼津駅周辺は、今のところどこにでもあるような駅前なので、沼津駅周辺の市街地は車中心の場所である認識であれば、「車から「ヒト」中心」という文言はおかしくない。

#### ①沼津駅周辺の整備

委員) 鉄道施設跡地、都市拠点としての機能強化は鉄道高架事業だけのことを意味しているのか。

事務局) 鉄道高架事業だけでなく、沼津駅周辺総合整備事業によるものである。

委員) 沼津駅前で、人にやさしい公共空間の創出を進めていくなかで、個人的には、姫路駅前のような人中心の空間をイメージしている。

事務局) 姫路駅前、人中心の空間に再編されている。沼津駅前においては、人が集まる空間や緑が少ないといわれている。また、地下道を通して駅に向かうなど町と駅の密着性がないともいわれているため、沼津駅周辺総合整備事業を進めるなかで、歩道空間を広げるなど人にやさしい公共空間の創出を図っていきたい。

委員) 地下道については、利用者に高齢者も多く、昇り降りが大変なため早急に対応した方がよい。

事務局) 対応として駅前の地上横断帯が考えられるが、鉄道高架を待つではなく、関係機関と協議しながら、なるべく早く対応していきたい。

委員) 沼津駅周辺総合整備事業は何年かかるのか。

事務局) 高架そのものの事業は、13年程度を見込んでいる。

委員) 沼津駅周辺の整備のメインは鉄道高架事業であるので、鉄道高架をうたったほうがいいのか。

事務局) 鉄道高架自体、まちづくりに間接的につながるものと思うので、鉄道高架を中心にしてしまうと、ニュアンスが変わってしまうのではないかと思う。文章化するにあたって、鉄道高架事業の推進と書こうと思ったが、鉄道を上げることに焦点が行ってしまうので、市全体で取り組む、沼津駅周辺総合整備事業にした。今後、基本計画策定にあたり、具体的に取り組む事業について掲載していく予定である。

委員) 市民から見ると、駅高架が中心であると考えるので、「鉄道事業を始めとする」という文言を入れた方がよい。

## **②都市骨格の構築とコンパクトなまちづくりの推進**

委員) 市街地のスポンジ化が進むのが良くないのであって、「コンパクトなまち」だけだと、市街地が縮むような誤解を招く恐れがある。また、表題しか読まない人もいるかもしれない。「コンパクト・プラス・ネットワーク」というフレーズの方が良いのではないか。

事務局) 検討する。

委員) 公共交通のネットワークについては、バスやJRとの連携が重要だと思う。

委員) コンパクトなまちづくりとは、沼津市全体の話なのか。

事務局) 立地適正化計画のなかでは、将来的には都市機能が充実している都市的居住圏を中心に人口を集めていき、郊外については、バスなどと連携しながらまちづくりを進めていく。

委員) 「コンパクトなまちを目指す」と行政側が目指すものとしているが、もっと市民にアピールできれば、わかりやすいものになるのでは。

事務局) 都市的居住圏だけでまちづくりをしていくわけではないので、市民に情報を発信しながら、取り組んでいく。

委員) 「コンパクト・プラス・ネットワーク」に表題が変わるのであれば、必ずしも都市的居住圏が立地誘導する場所ではない。都市機能の立地誘導と書いてあるが、住宅地の立地誘導について書いてないのはなぜか。

事務局) 都市機能の立地誘導については行政でできることとして書いてあるが、住宅地の立地誘導については、市が都市機能を誘導するなかで、そちらに住みたいという意識が進むような公共施設の誘導を進めるという意味合いを込めている。

委員) 公共交通ネットワークの再編はなにをどう再編するのか。

事務局) 公共交通は、バスターミナルの整理や、バス待ち環境の改善、ダイヤ改正により利便性を向上させる。

委員) バスターミナルの整理や、バス待ち環境の改善、ダイヤ改正は、公共交通ネットワークの再編に含まれるか？含むのであれば、言葉を検討した方が良いのではないか。

委員) イメージ図は、道路路線をもう少し細かく書いた方がわかりやすいのではないか。

事務局) 参考にさせていただく。

### ③既存ストックの活用

委員) 3～4年前、アーケードなどでの空き店舗に出店した場合への補助があったと思うが、今後は実施予定があるか。

事務局) 中心市街地活性化計画内での出店への補助があった。今後については確認する。

委員) 実施予定があるのであれば、ぼやかしてでもいいので、文言を入れた方が市民に魅力を感じてもらえるのではないか。

事務局) 出店に関してのインセンティブについては、基本構想か基本計画に載せるか検討させてほしい。

空き店舗については、リノベーションまちづくりに力点を置いて推進しており、実際に使う人と不動産オーナーをつなぎ、安価で起業ができる仕組みが大切と考えている。その中で、家守会社を設立して結びつきを促進している。

委員) 空き店舗などの活用については、沼津市全体の話か？

事務局) 実績の件数は、中心市街地が多いが、戸田・内浦などでも古民家でのリノベーションを行っている。

委員) リノベーションまちづくりが始まって4年間で、30件くらいの実績があると伺っているが、そのことをもっと前面に出せば、リノベーションを考える人が増えると思う。ただ、実施後、自立した事業として継続できないとダメだと思う。

事務局) 委員ご指摘のとおり、初期投資をなるべく抑えることなどで、継続性を持ったものとしていきたい。

委員) 空き家に対して、有効活用を図るとあるが、なにか具体例はあるのか。

事務局) 今のところ、具体例はまだない。今後の活用方法として、空き家をリフォームして移住定住する方への紹介物件とするような考えで、制度設計をしている。空き家バンクなども活用していきたい。

委員) 空き家を活用して、定住人口の増加に結びつけることができればと思う。

#### **④快適な住環境の整備**

委員) 定住の促進に向けた新たな住宅地の創出とあるが、これは、岡宮北区画整理のことだと思うが、これから、岡北以外で新しい住宅地を創る、開発することが難しいと思うので、書きぶりすると、過去形や現在進行形にした方がいいと思う。

事務局) 中心市街地においては、スポンジ化の集約で新たな土地や都市的な居住施設（下層に商業施設など、上層に居住スペース）の創出など考えられる。

委員) そうすると、住宅地ではなく住宅スペース、地域もまちなかなど郊外部でないということも書いた方がよい。

#### **⑤居心地よく質の高い都市空間づくり**

委員) 鉄道高架に伴う鉄道跡地について、公園整備も検討してほしいと思う。また、高架下を保育園などに活用する等、若い人に利用できるようなものにしてほしい。

事務局) 市民が活用しやすい施設が設けることができると考えている。公園などの緑化空間の配置も含め、鉄道跡地の利用を検討していく。

委員) 心地よい空間創出は都市的居住圏内のことか、それとも沼津市全体か。

事務局) まち全体で考えている。

委員) 沼津駅周辺の緑化については、高齢者の方が花壇の世話をしてくれていた（大手町の交差点など）が、現在は行われていないようだが。

事務局) 高架後の駅前広場などには、緑化空間を配置できるように検討したい。また、緑化の取組については、地元と調整をしながら再開できるか検討していきたい。

委員) 今の議論は、「まちのシンボルとなるような場所の緑化」というような文言になるかと思う。

委員) ⑤は他市町でも通じる書き方だが、最後の「質の高いデザイン」が入ることで他市町にはないなと思った。何か想定しているものがあるのか。

事務局) 平面駐車場など黒舗装のような無機質な感じではなく、色彩と調和した空間づくりができるのではないかという意図がある。

## **5 その他**

事務局より、日程の確認等を説明。

## **6 閉会**